

在中のこと、颱風のこと等考へると、何だか心細くならざるを得ない。

どうも、北海道の時に比べて、今回の日蝕行は百倍ぐらゐの困難があると思はれてならない。勿論、豪華船に乗つて、=ウヨ1ク經由で往復し得る南米ペル1の比ではない。——むしろ、學術に殉ずる熱心のあるものは、進んでロシアに入るべきだと思ふ。日ソ中立條約の結ばれた今は、決してソ聯が日本の敵ではないのだから。(1941—5—3)

## 日本に於ける彗星発見の年月日と、発見者及び彗星名

(天界226號に載せたものの訂正と増補です)

1. 1903年7月15日、新彗星(“ボレリ”), 横濱市, (故)井上四郎氏.
2. 1919年10月19日, 新彗星(“メトカ1フ”), 京都大學天文臺, (故)佐々木哲夫氏.
3. 1919年10月26日, 新彗星(“フィンレイ彗星”), 京都大學天文臺, (故)佐々木哲夫氏.
4. 1920年5月25日, “第二テムペル彗星”, 京都大學天文臺, 百濟教猷氏.
5. 1922年11月29日, “ペライン彗星”, 京都大學天文臺, 中村要氏.
6. 1925年6月, “第二テムペル彗星”, 大阪市, 百濟教猷氏.
7. 1925年12月3日, 新彗星(“ベルテア・キルク”), 長野縣, 田中靜人氏.
8. 1928年10月28日, 新彗星, 水澤緯度觀測所, 山崎正光氏.
9. 1930年11月13日, 新彗星, 京都大學花山天文臺, (故)中村 要氏.
10. 1932年7月17日, 新彗星, 米國加州プロ1リ村, (故)長田政二氏.
11. 1936年7月17日, 新彗星, 東京, 下保 茂氏.
12. 1937年1月31日, “ダニエル彗星”, 靜岡縣島田町, 清水眞一氏.
13. 1937年9月13日, “エンケ彗星”, 廣島縣, 本田 實氏.
14. 1939年4月23日, 新彗星(“ハセル”), 倉敷天文臺, 岡林滋樹氏.
15. 1939年11月13日, 新彗星(“フレンド”), 倉敷天文臺, 岡林滋樹氏.
16. 1940年10月1日, 新彗星, 倉敷天文臺, 岡林滋樹氏.
17. 1940年10月4日, 新彗星(“岡林”), 廣島縣, 本田 實氏.
18. 1941年1月21日, 新彗星(“フレンド”), // 本田 實氏.
19. 1941年2月3日, 新彗星(“パラスケラ”), // 本田 實氏.
20. 1941年2月5日, 新彗星(“パラスケラ”), 長野縣, 金森丁壽氏.

(以 上)